



長く店頭にあった御輿が売れたようであった。一千万の値札がついた御輿は屋根のそりも品良く毎日朝のあいさつのように眺めていた。ほぼ同じ作りの子供御輿は五百万としてあったが数年前に売れたようではし見なかった。新しい御輿はこんどは少し屋根の勾配が角張って色彩がはでになって二百万ほど安くなったようだ。その両脇に金の獅子頭の御輿が「応談」と書いてある札といっしょにある。私の尺度からすると姿がすこし良くない。そんなことを思っていたら、けさは店に大きく「御輿大特売」と大書きされていたが、あれは、大特売といわれて「はいそうですか」と買う物だろうか。世の中どうなっておるんだ、とぶつぶつ

言いながら前を通ってきてしまった。このごろどこもここも店をしめたり縮小したりするのが目立って多くて、つい、心配してしまう。文化まで安く切り売りしてほしくないのだ。あの一千万の内訳をいつも考えながら自転車で浅草を抜けるが、あんなめったに売れない物ももっと高くなくてはいけないのじゃないかとも思うし、職人にきちんと金は払っているのか、喜んで仕事を続ける意欲が出る金額は払っているのかと気になります。

ここまで書いて出張に出てしまった。下りの新幹線の中は、見回したところほぼ全員黒っぽいスーツのサラリーマンで、誰も話さず異様に静かだ。東京は雨で富士山も見えなかったが浜名湖まで来ると、空も湖も真っ青だ。しかし日本のサラリーマンは良く働くな。書類の整理をしている人以外はほぼ寝ている。疲れてもいるんだろうな。なんでこんなに遠くまでみんな出かけなければいけないんだろうか。近場で仕事をして食っていくことはできないんだろうか。遠くまで行くことが可能だからと言ってそれがしあわせだとはかぎらないのに。何か勘違いしてはいないか、人が多くなりすぎてしまったんだろうかと自問してみる。

さてここで名古屋着、さっそくホームのきしめん屋へ飛び込んで340円のただのきしめんを食う。鯉節がたくさんかかってあげが少し乗っているだけだが、まあ、おいしい。それからベンチで乗り換え時間に今書いているところです。これから、川を二つ見てくるところで、地域の人達の要望をどのように具体化出来るか考えてきます。まず、歩くことからなんでも始まります。歩いて、見て、聞いて、考えるのが仕事です。人の生きる環境をデザインすることも仕事のひとつです。どぶのようになってしまった川をなんとかできないだろうかと考えています。ますます良い天気になってきた、今日もたくさん歩いてこよう。

ノームはこのごろ時間がとれるようになりました。コンピュータで絵本を作る教室を始めます。ストーリーから一冊作るのに2回くらいだと思います。ご希望の方は連絡はメールか普通の電話で教えてください。

<http://www.interq.or.jp/japan/gnomes/gnomes1>

TEL/FAX 03-5600-0195 高村 哲 GnomesJpn@aol.com